



広報

やまと

—自然が生き生き
まほろば大和—



NO. **169** | 平成15年
9月号

編集/〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村役場企画財政課

TEL/0997-57-2111 FAX/0997-57-2161

発行人/大和村長 永田 武光

<http://www.vill.yamato.kagoshima.jp/>



第57回県民体育大会 第44回大島地区大会
ラグビー大和チーム悲願の初優勝



YAMATO

第12回ひらとみ祭り

奄美の夏まつりの最後を飾る第12回ひらとみ祭(村連合青年団主催)が8月31日(日)、思勝港湾一帯で開催されました。午前9時30分から開とみ神社でサトウキビ豊作祈願を行い、10時から祭りのメインである舟こぎ競争には、過去最多の92チームが参加して熱戦を繰り広げました。

奄美まつり(名瀬市)の上位チームがずらり顔をそろえ、予選から白熱。会場は、チヂンを打ち鳴らして観衆の歓声が響いていました。夕方からステージで保育園児のかわいい遊戯や迫力満点のエイサー、テレビの人気キャラクターショーで盛り上がり、川畑さおりさん(喜界町出身)は島唄をたっぷり披露しました。会場には住民や出身者、隣市町村から大勢訪れ、夏休み最後の日曜日を楽しんでいました。会場には、約二千発の花火が夜空を彩り、大勢の観客を魅了して、夏祭りを綺麗に飾りました。「ひらとみ祭り」は今年で12回目。村連合青年団が中心になって企画、運営する手作りのイベント。実行委員長の宮島正己(連合青年団長)は「祭りで青年や住民がよろう(集まる)ことができるのはいいことだと思います。回を追うごとに盛んになっています。これからも続けていきたい」と話していました。

舟こぎ競争の結果

*エンガの部

1、ウオーターボーイズ

2、小宿青壮年団

3、荒組

*メラブの部

1、小宿かんからレディース

2、下まつげハニー

3、テレビロスパンクス

*集落対抗(エンガ)

1、まだまだ大桐青年団

*同(メラブ)

1、湯湾釜メラブ



サトウキビ豊作祈願



今年も見事な水中花火



園児も、まつり真最中



ウレ、ハヨー、コゲエー



アバレンジャーとジャンケンゲーム



区長会もお疲れ様



うらうち湾に響く宮古崎太鼓



ひらとみ祭り
団長あいさつ
連青 宮島正己



ソーレ、イチー、ニー



おどりゃにヤソソソ



実況中継! ワン、トウジューキバリョー



ゲスト島唄 川畑さおりさん



大きな声援



ステージの司会者
息もピッタリ、カッコイイ!!



夜店も繁盛

郡体開幕、各地で熱戦

ラグビー大和チーム 悲願の初優勝

第57回県民体育大会・第44回大島地区大会が、平成15年7月12日・13日の2日間、各市町村を会場に開催されました。大和村では、奄美フォレストポリスにおいてグラウンドゴルフ競技が行われました。今大会は、奄美群島日本復帰50周年を記念する大会でした。この大会で大和村は、ラグビーフットボールが悲願の初優勝を飾り、グラウンドゴルフ、ソフトテニス女子が準優勝するなど、すばらしい成績をおさめました。

*男女総合・第9位(前回11位) *女子総合・第6位(前回10位)

各種目別結果

第1位 *ラグビーフットボール

第2位 *グラウンドゴルフ *ソフトテニス女子

第3位 *水泳男子

第5位 *バレーボール女子 *卓球男子 *ソフトテニス男子 *バトミントン女子 *ソフトボール男子
*カヌー男子

第6位 *水泳女子

第9位 *陸上男子 *バレーボール男子 *軟式野球 *相撲二部 *ゲートボール *剣道

以上の成績でした。選手団の皆さん、お疲れさまでした。来年も活躍されます様、お願いします。



準優勝 グラウンドゴルフチーム



横断幕で選手を迎える



奄美フォレストポリス グラウンドゴルフ開会式



役場へ優勝報告



三位入賞 水泳男子



準優勝 ソフトテニス女子チーム

お知らせコーナー

税務課から

税の納付期限は、毎月・月末です。期限までに納入がないと、督促料及び延滞金が増算されます。特別な事情により納入が遅れるときは、税務課にご相談ください。

口座振替(自動引落し)が利用できます。(村県民税、固定資産税、軽自動車税、国保税、水道使用料、村営住宅家賃)集合徴収で納入が困難な方は、口座振替をご利用ください。またご自分で郵便局や銀行から入金する方法もあります。

お問い合わせ先：税務課

災害による損害を受けた方への県税・村税の減免等について

地震、火災、風水害などの災害により損害を受けた方々には、税金を軽減したり、徴収を猶予するなどの方法があります。ご不明な点がありましたら、大島支庁財務課、または役場税務課にご相談ください。

ご相談は、電話でも結構です。

大島支庁財務課
TEL 0997-531111
大和村役場税務課
TEL 0997-571211

建物を取り壊したり新築・増改築したみなさんへ

建物(車庫や物置などを含みます)を取り壊したり、新築・増築をしますと、その翌年度から建物の固定資産税が変わります。また、住宅用の敷地には、軽減措置が適用されますので、住宅等の新築や取り壊し、また、店舗を住宅に改築するなどによって、土地の固定資産税が変わる場合があります。詳しくは役場税務課税務係までご連絡ください。

住宅・土地統計調査について

10月1日は、住宅・土地に関する調査が全国の400万世帯を対象に行われます。本村では、八湯湾釜・津名久Vが調査地区となりましたので、調査員が対象世帯に調査のお願いに伺います。この調査結果は他に漏らすことは法律で固く禁じられていますので、安心してご協力下さい。

社会にいきる税

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した生活ができるようにいろいろな活動を行っています。

身近な例として、教育について見てみますと、国と地方公共団体が負担した公立学校の児童・生徒一人当たりの年間教育費(平成12年度)は、小学生84万円、中学生88万9千円、高校生90万1千円となっています。

このほか社会福祉の充実、住宅や道路の整備、安全の確保に欠かせない警察・消防などの活動にもいかされています。このように、税金は私たちにとって、共同生活を維持するいわば「会費」であり正しい申告と納税によって支えられています。

税金の使われ方について記載したパンフレットは、最寄りの税務署や税務相談室に備え付けていますのでご利用ください。 大島税務署 電話52-4321

国土交通省では
毎年10月1日を「土地の日」
10月を「土地月間」
国民の理解を深めよう!!

税の納付期限は毎月・月末です。

平成15年度青年海外協力隊、シニア海外ボランティア及び日系社会シニアボランティア秋募集

	青年海外協力隊	シニア海外ボランティア	日系社会シニアボランティア
募集期間	平成15年10月10日(金)～11月16日(日)	平成15年10月10日(金)～11月16日(日)	平成15年10月10日(金)～11月16日(日)
募集職種	約140職種 (農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツの7部門)	計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉(9分野)	日本語教育、保健衛生・福祉、その他
募集規模	約800名	約300名	約25名
応募資格	満20歳(平成16年4月1日現在)から満39歳(平成15年11月16日現在)までの日本国籍を持つ方	満40歳から満69歳(派遣時)までの日本国籍を持つ方	
派遣国	約65ヶ国 (アジア・アフリカ・中南米・中近東・大洋州・東欧)	56ヶ国予定 (アジア・アフリカ・中南米・中近東・大洋州・東欧)	アルゼンティン・ボリビア・ブラジル・チリ・コロンビア・ドミニカ共和国・パラグアイ
派遣期間	2年間	1年ないし2年間	2年間

●問い合わせ先 九州国際センター 〒805-8505 北九州市八幡東区平野 2-2-1 TEL 093-671-8349
鹿児島県 総務部国際交流課 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1 TEL 099-286-2303

老人医療受給者の皆さんへ

「住民税非課税一・二」に該当する方が入院されるときは減額認定証を病院等の窓口で提出してください。

病院等の窓口には「老人保健の限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示すれば窓口負担が下記の表の金額となります。この減額認定証は、市町村の老人保健の窓口申請すれば交付されます。

入院時の窓口負担の限度額負担区分

住民税非課税 24,600円
一 15,000円

*住民税非課税一、二の該当については、保健福祉課（老人医療）担当までお訪ねください。

電話 57-2111（内線64）

ハブ毒吸出器について

これまで実施されてきたハブトキシノイドの接種事業が、平成15年3月に廃止されました。

これまでの接種事業に代わって県では、ハブの咬傷直後の初期手当で効果のある「携帯用毒吸出器」の普及に努めています。

万が一ハブに咬まれた時は、

傷口から「毒吸出器」で毒を体外へ吸い出し、これを病院に着くまで、継続して行います。「携帯用毒吸出器」（消費税込みで2500円〜3000円）は島内の薬局・薬店で購入が出来るようになっていきますので、特に咬傷事故が多い畑の草刈りなどの農作業等に従事される際は、常に携帯するようにしましょう。

詳しくはハブ対策推進協議会（TEL0997-5717215）または、名瀬保健所（TEL0997-5215411）、までお訪ね下さい。



知っていますか？建退共制度

平成15年10月1日から建退共制度が一部変わります。

*加入できる事業主：建設業

を営む方なら誰でも
*対象となる労働者：ほとんど全ての建設業の現場で働く人

*掛金：月額300円（平成15年10月1日から310円）

掛金は、全額事業主負担で、必要経費として処理できます。

（建設事業主のみなさまへ）

*申込手続きは簡単です。

*経営事項審査で加点されません。

*掛金は全額非課税で国が一部を補助します。

（建設現場で働くみなさまへ）

*建退共の手帳を持っていますか？

詳しいことは、もよりの建退共支部へお問い合わせ下さい。

TEL099-25719216
勤労者退職金共済機構建退共鹿兒島県支部

9月は障害者雇用促進月間

雇用・就業は障害者の自立・社会参加のためには重要な柱であることから、事業主の方

のご理解とご協力をいただき、一人でも多くの障害者の雇用

のつながるよう鹿兒島県では、厚生労働省の後援のもと

9月を「障害者雇用促進月間」と定めて色々な行事を展開し

ております。

詳しくはハローワーク又は（社）鹿兒島県障害者雇用促進協会

鹿兒島市鴨池新町6番6号
TEL099-28614402

遺言や契約は公正証書で

10月1日〜7日は、公正週間です。

遺産相続をめぐる争いや金銭をめぐるトラブルが増えて

います。遺言や養育費の支払

約束、金銭貸借、土地建物の

賃貸借など、大切な契約を公

の機関が証明する公正証書で、

あなたの財産や権利を守りま

す。

○遺産をめぐる骨肉の争いは

見苦しいものです。

○公正証書遺言は、家庭裁判

所の検認や他の相続人の同意

を得ることなく、すぐに相続登記ができます。

○公正証書（執行証書）で、

直ちに財産の差押えもできます。

5日（日）は、公正証書等に

関する相談に応じます。

相談は無料です、いつでも

お気軽に

問合わせ先

名瀬公正証役場 TEL0997-5212661

（名瀬市幸町12番22号）

じん肺の所見がある方に

発生した肺がんの労災補償について

じん肺の所見がある方（じん肺管理2、管理3又は管理4と決定された方）に発生した原発性肺がんについては、

これまで、管理3又は管理4の方が労災補償の対象となっていました

が、平成14年11月11日以降は、管理2の方も対象となりました。

じん肺の所見がある方が原発性肺がん

で亡くなられた場合には、原則として、労働者

災害補償保険法に基づく遺族補償給付が支給されます。

ただし、遺族補償給付の請求権は、死亡した日の翌日から5

年経過した場合には時効により消滅しますのでご注意ください。

詳細は、最寄りの（都道府県）労働局又は労働基準監督署へお問い合わせ下さい。

大和っ子スクール3時間目 「点字教室」

7月19日(土)に大和っ子スクールの3時間目が開催されました。今回のスクール「点字教室」には、村内の小学生53名が参加してくれました。名音中学校の小島士郎先生が講師でした。また、全盲の野崎晴美さん(小島先生が鹿児島盲学校に勤務していたときの教え子)も特別講師として参加してくれました。

まず小島先生から目の不自由な方のことが説明されました。目の不自由な方が使う文字が点字であることや、目が不自由でもスポーツをしたり音楽をしたり皆と同じように頑張っていることが話されました。その話の終わりに鹿児島盲学校の文化祭の様子をビデオで見ました。

いよいよ、点字に挑戦です。初めて見る点字版・点筆の使い方を教えてもらい、見本を見ながら、それぞれ「あいいうえお」などから点字に挑戦しました。子どもたちの覚えは早く、ほとんどの子が自分の名前まで点字にすることができ



きるようになりました。自分の名前を点字シールにうつって、素敵なおみやげができました。

最後に、白杖歩行の体験も行いました。アイマスクをつけ、講堂の中を一周するだけでしたが、なかなか思うようにいかず、目の不自由な方の大変さを感じることができました。

子どもたちは真剣に取り組んでおり、全盲の方と触れあったり、普段なかなか体験できないことをすべてとても満足していた様子でした。

大和っ子大会 in フォレスト

平成15年7月30、31日の二日で大和っ子大会 in フォレストが開催されました。この大会は「大和っ子育成プラン特別企画」で、育成プランの20項目以上が体験できるプログラムが組まれており、子どもたちはフォレストボリスの大自然の中で、大和でしかできないような体験活動や文化活動を十分に楽しんでいたようです。大和村には、魅力的な体験活動の場がまだまだたくさんあります。小中学生は、ぜひ「大和っ子育成プラン・成長の記録」を活用して素敵な体験活動を使わせてもらいたいと思います。

- *一日目
 - *マテリアの滝散策コース
山の中のボードウォークを歩き、マテリアの滝に降りてきます。すがすがしいウォーキングが楽しめました。
 - *大和っ子クイズ大会
大和村についてのクイズ大会。これを知らないや大和人とは言えない。このクイズ大会で池田亮輔くんがものしり博士に認定されました。
 - *ハッピーライフ幸せ探し
自分自身を見つめて、人の良さを認め合う時間です。これまで体験した幸せだったことを発表していました。
 - *炊飯活動
薪で火をおこし、飯ごうでご飯を炊きました。そしてもちろんカレー。とてもおいしいカレーができました。
 - *標本作り
天候観測を予定していましたが、天候不良のため標本作りを。大和



- *花火大会
やっぱり夏の夜は花火ですね。
- *二日目
 - *ソテツの芯粥
昔の人はソテツの幹の毒素を抜き、おかゆにして食していました。今ではなかなか食べられない芯粥を食べるといって貴重な体験ができました。
 - *方言講座・ケムムン話
村の文化協会会長、大崎忠通さんが講師です。今の子どもたちにとって方言は難しいです。島口で自己紹介ができるようになったのかな?
 - *自然散策
自然博士・役場の大町博之さんが指導してくれました。鳥の姿はあまり見られませんでした。川でメダカや小魚をとるのに夢中になりました。
 - *グラウンド・ゴルフ
またまた一位、池田亮輔くん。二位、真優一郎くん。三位、三島ゆりやさんでした。楽しい一泊二日でしたね。来年も多くの友達に参加を待っています。

大和っ子ナイトスクール

平成15年8月26日・27日の2日間、大和っ子育成プラン特別企画として大和っ子ナイトスクールが開催されました。これは、奄美の自然で感動体験をすることで、ふるさとへの誇りや愛着を育むこと、自然を大切にすることを育むことをねらいとして行われました。スクールには、村内の中学生8名が参加しました。

村中央公民館に夜8時に集合した中学生らは1時間、インターネット等を使ってアマミノクロウサギやリカケスなど奄美に住む生き物について調べ学習をしました。その後、ジープに乗り込み夜の自然観察へと出発しました。自然観察では、ヤマシギ・コノハズク・イシカワガエルなどを確認し、ホタルや夜空に広がる星なども観察できました。そして、なんと言っても感動だったのがアマミノクロウサギとの出会い。1日目、2日目とも数羽のアマミノクロウサギを確認し、子どもたちもその奇跡的な出会いに心躍らせていたようです。



大和村教育講演会開催

7月31日(木)に平成15年度大和村教育講演会を実施いたしました。これは、大和村立学校の教職員の方々を対象に、研修の時期として適切な夏期休業中に学識経験者や各界の指導者・先駆者等を講師とする「教育講演会」を開催することによって、幅広い視野や考え方を培い資質向上を図る機会とすることを趣旨として開催いたしました。講師に、株式会社楠田書店会長であり泉芳朗先生を偲ぶ会代表である楠田豊春先生をお迎えして、「日本復帰五十年の回想〜鳥を見直そう〜」の演題でご講演をいただきました。

- 内容は、
- 一、鳥の概念
 - 二、奄美の歴史
 - 三、復帰運動
 - 四、奄美の方言
 - 五、奄美の民謡等
 - 六、私の教育象
- の六つの構成でしました。

当日は、代表勤務等に参加できない先生方を除く、五十名の先生方が加がありました。



大和村理科フェスティバル開催

平成15年7月25日(金)に大和村管内の理科部会の先生方による「理科フェスティバル」が行われました。一昨年まで実施されていた「植物採集」や「昆虫採集」に代わって実施されたものです。

村内の理科の先生方を指導者として、児童生徒が、自分の好きな内容を選択し、日頃、学校の授業では体験できない興味あふれる実験を行ったものです。

岩切先生による「色のついた花火・空気砲」・中尾先生による「ミニロケット&スライム」・武元先生による「ペットボトルロケット」・川崎先生による「廃油を材料にしたロウソク」・新田先生による「プラスチックのアクセサリ作り」でした。

小・中学生で約60名の児童生徒が理科実験に夢中になっていました。理科部の先生方、お疲れさまでした。理科が好きになってくれるといいですね。



奄美小学生 学年別一水泳選手権大会

大和村民プールで8月24日、奄美小学生学年別水泳選手権大会(奄美水泳連盟主催)が行われました。

大会には、群島内から375人が出場。58種目で熱戦が繰り広げられ、3年以下男子25メートル背泳ぎで中村雄大君(大勝スイミング)が20秒43と11年ぶりに学童新記録を塗り替えるなど、多くの好記録ができました。

大和村からも、大和小、大棚小、戸円小、名音小、今里小のsp(スポーツ少年団)が出場し、活躍を見せました。

*男子の結果

- 4年50メートル自由形 二位 林瑞紀(大和sp)
- 4年50メートル平泳ぎ 二位 林瑞紀(大和sp)
- 6年50メートル自由形 三位 祇園下降一郎(大棚sp)
- 6年100メートル自由形 一位 祇園下降一郎(大棚sp)

*女子の結果

- 4年50メートル背泳ぎ 二位 勝 姫穂(名音sp)
- 5年50メートル自由形 三位 奥田華子(大和sp)
- 5年100メートル自由形 三位 奥田華子(大和sp)
- 5年100メートル平泳ぎ 三位 前田里穂(大棚sp)
- 5年100メートルバタフライ 三位 今井明利香(大棚sp)
- 5年50メートル背泳ぎ 三位 川畑慧理佳(名音sp)



壮年・婦人親睦

グラウンド・ゴルフ大会

平成15年8月17日(日)にフォレストポリスにおいて壮年・婦人親睦グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

- 四位 大和浜壮年団 3 1 2 打
- 五位 名音壮年団 3 1 5 打
- 六位 湯湾釜壮年団 3 1 8 打
- 七位 国直壮年団 3 2 2 打
- 八位 戸円壮年団 3 4 7 打

村内の壮年64名、婦人13名が参加して個人戦・団体戦が行われました。グラウンド・ゴルフには、ほとんどの参加者が親しんでおり、すばらしいプレーが多く見られました。また、それぞれが顔見知りのため、冗談を言ったり和気あいあいの中でプレーを楽しんでいたようです。

結果は以下の通りです。

- *団体戦(壮年)**
- 一位 今里壮年団 2 8 0 打
 - 二位 大棚壮年団 3 0 0 打
 - 三位 思勝壮年団 3 0 0 打
- *個人戦(壮年)**
- 一位 今井秀樹 (大棚) 4 3 打
 - 二位 仲新城長政 (思勝) 4 3 打
 - 三位 福永則雄 (今里) 4 3 打
 - 四位 森 貞義 (大和浜) 4 4 打
 - 五位 宮田忠郎 (今里) 4 6 打



団体優勝 今里壮年団

大和村の高校生 国体全鹿児島に2人が選抜

2003年国体全鹿児島少年チームに、大島高校ラグビー部3年生の川下誉(大棚出身)・座安一気(大和中出身)の両選手が選抜された。今年2月から1回のペースで行われた合宿には県内の高校から100人が選考され、最終選考には川下、座安両選手を含む22人が選ばれた。

作るポジションのスクラムハーフの座安選手の2人は右足の靭帯を痛めギブスをした(川下、右足半月板の手術を鹿児島で受ける(座安)など、けがを乗り越えての選抜に「選ばれてうれしい。佐賀県である九州国体で頑張りたい」と意欲を見せた。両選手は7月12日・13日に行われた第57回県民体育大会・第44回大島地区大会で大和村ラグビーチームで出場し初優勝にも貢献している。



川下選手 座安選手

オータムジャンボ宝くじ (新市町村振興宝くじ)

1等前後賞 あわせて **2億円**

「オータムジャンボ宝くじ」が全国の宝くじ売場で、発売されます。当たり実感のある小額賞金が充実しています。

- 1等 1億5,000万円 × 20本
- 2等 1,000万円 × 20本
- 3等 100万円 × 200本
- 4等 5万円 × 30,000本
- 5等 1万円 × 200,000本
- 6等 3,000円 × 1,000,000本

「9月25日(木)発売！」

発売期間：平成15年9月25日(木)～10月10日(金)
抽選日：平成15年10月15日(水)

※この宝くじの収益金は、市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

住宅金融公庫のローンを返済中の方へ

ローン返済でお困りの方(倒産など勤務先の事情により収入が減少した方、家業の不振により収入が減少した方、病気やけがなどにより支出が増加した方等)については、返済月額を軽減する場合があります。ご返済中の金融機関または住宅金融公庫に、遠慮無くご相談下さい。

住宅金融公庫南九州支店
TEL 096-387-3707
(平日、第1・第3日曜：9:00～17:00)

編集室から

「ウォーキング」で健康生活
なんでも便利になった現代普段から意識してないと、あっという間に運動不足になってしまいます。でも「運動しよう」と身構えると、かえってできないもの。そこでおすすめなのが「ウォーキング」です。いつでもどこでも理想的な有酸素運動。1日1万歩を目標に、ぜひ歩いてみましょう。さあ今日から実践。



わたしのおすすめメニュー

大和村食生活推進員

●ゴーヤー豆腐 (豚肉とにがうりの卵とじ)

材料と分量の割合

にがうり	2本
豚肉(バラ肉)スライス	200g
豆腐	3丁
卵	5個
にんにく	1片
べに花油又はエコナ	大さじ5
塩・こしょう	少々
オイスターソース	大さじ1
しょう油	大さじ1
砂糖	大さじ2
酒	大さじ2

～作り方～

- 1、豚肉は小さめの一口大に切り、塩・こしょう・酒をまぜ下味をつけておく。
- 2、豆腐は水分を切り、更に白の布巾で絞り出す。
- 3、卵は軽くほぐしておく。
- 4、にんにくをスライスに切る
- 5、中華なべをじゅうぶんによく熱し、べに花油大さじ5を入れ、にんにくを香味よくいためる。
- 6、5に豚肉を手早くほぐしながら炒め、肉の色が変わったらにがうりを加え、砂糖・しょう油で味をととのえる。
- 7、6に3の卵液を流し入れ、はしで大きく混ぜながら炒め、半熟以上に固まったら火を止め、すぐに皿に滑り込ませるように盛りつける。

(一口メモ)

夏バテにきく健康的でヘルシー料理として子供からお年寄りまで好まれてます。



百典返しお礼
 *次の方から、村社会福祉協議会へ百典返しとして、ご寄附をいただきました。
 塩屋弘利 (故) 塩屋トキエ
 田畑スミ (故) 田畑照光
 ありがとうございます。

百典返しお礼

上地シゲ (93) 戸円
 勝島美幸 (52) 名音
 田畑照光 (71) 大和浜

百福をお祈りします

竹中 喜 父 義晴 (大棚)
 母 智子
 健やかに育ってください。

元山 遥 父 丈寿 (大棚)
 母 葵

徳島 成 父 兼稔 (大金久)
 母 寿子

およろこび

平成15年7月1日から8月31日までに届けられた方です。

こせきの窓

(8月31日現在)
 人口 2,049人
 男 974人
 女 1,075人
 世帯 919戸
 (推計人口))

特集

奄美復帰五十周年に思う

復帰運動当時の色々な思い出

大和村名音 福山一憲

大東亜戦争で敗戦の翌二十一年・北緯三十度以南・奄美群島は日本本土から分離され、アメリカの軍政府の統治下におかれ、食糧難で苦しい生活状況の中、本土との渡航も自由を断たれ若者達の夢と希望も果たす事すら出来ない時代でした。二十五年頃から泉芳朗氏達の先導によって日本復帰運動の気運が日増しに高まり、無血の民族運動が展開され署名運動が始まり、二十六年・二十七年・二十八年と群民総決起大会・断食悲願運動へ

と発展し、まさに日本復帰のうたの詩の通り、わが同胞の血の叫び烈々折る大悲願、奄美二十余万同胞が一丸となつて日本復帰貫徹の、のろしを燃やし続けた結果ついに念願が叶い昭和二十八年十二月二十五日、奄美群島は日本復帰を果たし群島民あげて喜びに浸ったのでございます。今でも復帰のうたを聞くたびに感激で胸が熱くなり二十余万同胞の血のじむような運動があつた事を忘れてはならないと思います。復帰運動当時は集落民はもちろんですが、当時は十五才までの青年団員が約百三十名位おり、復帰運動も青年団が主体になっておりました。幸い集落出身の若い先輩教師が二名おられましたので先生方のご指導とご協力を得て学校の講堂において決起大会を何回か、やった事がありました。また年月はさだかでありませんが、県議や使節団一行が十島丸で名音沖に停泊、軽でこられた折りにも先生方の協力を得て横断幕を造り集落民一同で歓迎をした事や、断食悲願運動は、当時学校の側に高千穂神社があつたので其処でした事などを記憶しております。それと二十七年当時、私は青年団長をしており、二十三才で早婚でしたので子供が一人おり十名家族の家主で苦しい生活の中、家庭をも省みずよく復帰運動などして来たものだとつくづく考えます。その年、大和村の連合青年団の総決起大会が戸円校であり、大会後に各集落の青年団による演芸大会が行われ、その中で名音青年団の演技者の主役を演じた方が役になりきって、涙を流して演技をして観衆の涙を誘った事など忘れぬ事として今でも印象に残っており、復帰運動当時の事を思う時、走馬灯の如く色々な事が頭の中をよぎって、あの苦しい時代が、私達の青春だったのかなあと思う時さえあります。八年間の奄美群島の苦節を思う時、あの様な悲惨な戦争だけは二度と絶対起こすこと無いよう平和で豊かな日常を過ごせる様、後世に伝えて行かねばなりません。

毛活用 第一回まほろば大和
特産加工品コンクール

金賞に鬼塚さんの

「すもものしょう油漬け」

奄美ブラム(スモモ)を使った第一回まほろば大和特産加工品コンクールが八月十九日、役場会議室で行われ、金賞には大和の鬼塚玲子さんが出品した「すもものしょう油漬け」が輝いた。摘果品の利用可能な点が高く評価された。

大和村の主幹作物、すももを有効活用したコンクールを実施し、入賞加工製品を紹介することで地域農産物の生産と販売促進を図る目的。審査委員長の神宮司恒幸大島農業改良普及センター次長、委員の西之原美子同普及企画係長、勝久輝村議会建設経済副委員長、村上恵子JA奄美大和支所長、郁島和代村生活研究グループ代表に委嘱状が交付された。審査員五人が味やアイデアなど商品化に向け五段階で審査し金賞一点、銀賞二点、銅賞二点を選んだ。基準は(一)味、(二)風味、(三)色、(四)素材が生かされているか、(五)アイデア、(六)商品化できるかの六点について五段階で評価された。

講評では「包装に工夫を」

「酢そのものをメーカー委託して色を損なわない工夫を」「水っぽくならずにはお菓子、ゼリー、ケーキに利用できる」などの意見が相次いだ。また、一ヶ月間の応募期間では短い、広報の在り方など反省点が出された。

永田村長は来年以降もコンクールを継続していく考えを示された。

銀賞

藤村クニ子・大棚

「すもも酢ドリンク」

奥山イワ子・大棚

「すももの甘露煮」



銅賞

奥山イワ子・大棚

「すもものドライフルーツ」

溜 和子・大棚

「すももジャム」

来年以降も多くのの方の応募を願っています。



元気です
満一歳になりました



平成14年7月1日から平成14年8月31日までの間に三人が誕生。

ちよつと満一歳を迎えたお子さん達です。

親が子に寄せる期待と夢は大きいものです。

また、過疎の「大和村」もこの子どもたちの成長を祈っています。

ご紹介しましょう。



奥田 大智
(父)隆一郎 (母)亜希子 (大棚)



松井 大翔
(父)将司 (母)輝美 (国直)



勝 えりい
(父)健一郎 (母)せつみ (名音)

すくすくも
育て
玉こがね
ほでてためになれ
島の宝